

小笠原先生の奈良・古代史講座のご案内

主 催 奈良歴史遺産市民ネットワーク

事務局 〒630-8306 奈良市紀寺町883-4

TEL・fax 0742-23-3934 小宮みち江

講 師

小笠原好彦氏 滋賀大学名誉教授・文化財保存全国協議会常任委員

講座会場

奈良県教育会館 開講13時30分(開場13時) (奈良県文化会館西隣 近鉄奈良駅より徒歩5分)

参加資料代

500円



5月13日(火)

《伊賀の石山古墳の発掘とその被葬者》



大和の東、伊賀で最も著名な石山古墳をとりあげ、この前方後円墳の優れた副葬品と、この古墳の築造位置から被葬者を検討してみます。また、副葬品をふまえて、被葬者がはたした大和政権での重要な役割を考えます。

6月10日(火)

《室宮山古墳の築造とその被葬者》

大和盆地の西端部の葛城の地に築造された室宮山古墳は、優れた家形埴輪が配された前方後円墳です。一説に被葬者として葛城襲津彦を推定する考えがあります。墳丘規模、石室、石棺、副葬品から、葛城襲津彦を被葬者に推定しうるかどうか検討します。

7月8日(火)

《富雄丸山古墳の発掘とその被葬者》

大和盆地の北部、富雄川の流域に築造された富雄丸山古墳は、円墳ながら100mを超える古墳です。古く副葬品が掘り出され、近時に史跡整備のため発掘され、優れた、また特異な副葬品が検出されています。この古墳の被葬者を検討し、考えてみます。



——8月の講座は 休ませていただきます——

※ 感染症予防にご協力をおねがいいたします

☆☆☆ 事前の申し込みは要りません。どなたでも参加できます ☆☆☆